

# Enterprise OS

なぜ企業のAI活用は失敗するのか  
—足りないのはAIじゃない。OSだ。

---

田中訓 / Dave Tanaka

February 2026

# 誰も語らない本当の問題

“社内のAIツールに社内資料の要約を頼んだ。拒否された——『内容は把握していますが、機密性の高いセキュリティ情報を含むため、ポリシー上共有できません』と。  
その資料は誰でもアクセスできる施設案内ガイドだった。AIの機能を制限しているのは人間だった。

AIは壊れていない。なかった。飢えていたのだ。

88%

の企業が  
AIを導入済み

McKinsey 2025

39%

が事業への  
効果を実感

McKinsey 2025

1.8 hrs

従業員1人あたり  
1日の情報検索時間

McKinsey

\$31.5B

Fortune 500企業の  
年間知識共有損失額

IDC

# 根本原因

AIの問題ではない。その下にあるデータ基盤の問題だ。

ERP / SAP

CRM / Salesforce

SharePoint

メールサーバー

社内Wiki

製品DB

レガシーシステム

個人PC

共有ドライブ

翻訳管理

Web CMS

人事システム

12以上のバラバラなシステム ・ バージョン履歴なし ・ 統合検索なし ・ AIはどれも読めない

# ポスト・イット® がAIについて教えてくれること

1968

スペンサー・シルバーが「失敗作」の接着剤を発明。くっつくがすぐ剥がれる。用途が見つからない。

12年後

アート・フライが教会の賛美歌集のしおりに使えることに気づく。シルバーの「失敗」を思い出す。

ポスト・イット® 誕生

15%カルチャーから誕生 — 従業員が業務時間の15%を自由な探求に使える文化。

すべてを変える問い：

もし全社員に15%カルチャーを提供できたら？  
— 制度としてではなく、組織的な機能として

# Enterprise OS

企業の集合知を解き放つオペレーティングシステム

Layer 1

## 基盤

Gitを全社の知識のバージョン管理ファイルシステムに。すべての変更を記録。すべてのバージョンを復元可能。すべての部門を接続。

Layer 2

## 知性

統一された構造化知識基盤からAIが読み取る。文脈。履歴。関連性。企業AIがついに賢くなる。

Layer 3

## 人の開花

AIが定型的な知識業務を処理すると、全社員に時間が生まれる。もっと仕事をするためではない。違う仕事をするために。創造的で、人間的で、革新的な仕事。

# 基盤技術: Git + GitHub Enterprise

ソフトウェアエンジニアは20年前にこの問題を解決していた。全社に適用すればいい。

## Gitとは？

Wordの「変更履歴」を想像してほしい — ただし、すべてに適用される。

- すべての変更を記録: 誰が、いつ、なぜ
- 何も失われない — 完全なロールバック機能
- チームが衝突なく並行作業可能
- 変更は承認されてから反映される

## 提案

Gitを全社情報の管理に使う — コードだけでなく。

- コードの先へ → 全社の知識を管理
- AIがGitから読み取る → より賢い企業AIへ
- 既存の承認ワークフローが自然に統合
- 数十年の技術革新を検索・接続可能に

Fortune 100の **92%** **77K+** を超える企業が導入 **180M+** ユーザー（世界）

3M • Mercedes-Benz • GM • Accenture • AstraZeneca • Costco • Cathay Pacific • Generali • Carlsberg

出典: *GitHub (2025); Forrester TEI Report (July 2025)*

# 仕組み

GitHub Enterpriseを中央ハブとして — データソース、AI、出力チャネルを接続



## commit

すべての変更を  
履歴と理由付きで記録

## branch

地域/部門バリエーションを  
ソースを壊さず管理

## pull request

レビューと承認を経て  
反映される

## merge

承認された変更が  
全社に展開

## fork

パートナーによる  
カスタマイズが可能

# 実現に向けて

おそらく浮かぶ3つの疑問 — 正直な回答

## Q1 既存システムとどう接続するのか？

既存のシステムを壊さない。すべてを活かしたまま、つなげる。

GitHub ActionsがREST API経由で同期をトリガー。ERP、CRM、SharePoint — すべて成熟して成熟したAPIコネクタあり。カスタムミドルウェア不要。

Phase 1 PoC（単一ワークフロー） 3ヶ月

Phase 2 2-3システム接続 6ヶ月

Phase 3 全社展開 12-18ヶ月

## Q2 セキュリティは？

世界最高水準のセキュリティ基盤が、すべての知識を守る。

✓ Enterprise Cloud（データレジデンシー対応） ✓ ロールベースアクセス制御（RBAC）

✓ Advanced Security（GHAS） — 自動シークレットスキャン ✓ SOC 2 Type II / ISO 27001 / FedRAMP

## Q3 ユーザーにはどう見えるのか？

ほとんどのユーザーはGitHubを直接見ることなく、その恩恵を最大限に享受する。

Marketing → uploads via SharePoint as before | Approvers → existing review tools | Engineers → direct GitHub access | Leadership → just ask the Leadership → just ask the AI



# 今、失い続けているもの

## 今日かかっているコスト

1.8 hrs/day	従業員1人あたりの日次情報検索時間 <i>McKinsey</i>
21% + 14%	業務時間の35%: 情報の検索 + 再作成 <i>Bloomfire / HBR 2025</i>
30%遅い	サイロによる部門横断コラボレーションの遅延 <i>HBR / Bloomfire</i>
\$31.5B/yr	Fortune 500の知識共有失敗による年間損失額 <i>IDC</i>

## Enterprise OSがもたらすもの

3.9 hrs/wk	KMシステム導入による従業員1人あたりの週次時短 <i>Bloomfire 2025</i>
20–25%	堅牢なKMによる生産性向上 <i>McKinsey Global Institute</i>
376% ROI	GitHub Enterprise Cloud 3年間の投資対効果 <i>Forrester TEI, July 2025</i>
35% less	情報検索にかかる時間の削減 <i>McKinsey</i>

Fortune 500企業の多くはすでにGitHub Enterpriseを契約済み。

これは新規購入ではない — 既存投資の潜在価値を解放するということ。多くの場合追加コストは設定と統合であり、ライセンスではない。

# 実践例: Before & After

## カスタマーサポート

### 現在

担当者が5つのシステムを手動検索

- 関連ケースの発見に47分
- 地域ごとに回答がバラバラ

### ENTERPRISE OS導入後

担当者がAIアシスタントに質問

- 関連ケース + 類似12件を数秒で発見
- グローバルで同品質の回答

## マーケティングキャンペーン

### 現在

毎回ゼロから開始

- 過去のキャンペーンが見つからない
- 地域ごとに数週間の作業

### ENTERPRISE OS導入後

AIが類似の過去キャンペーン12件を発見

- 数時間でドラフト生成
- 自動翻訳 + 現地適応

# 全社員がエンジニアになる

GitHub + AIはエンジニアを助けるだけではない。全員をエンジニアにする。

## Before: エンジニアが作り、他は依頼する

- × マーケがページを必要 → チケットを切る → 3週間待つ
- × 営業がレポートを必要 → ITに依頼 → 来期に届く
- × 地域チームがコンテンツを必要 → メールチェーン → 翻訳で迷子に

## After: 全員が作り、AIが支援する

- ✓ マーケが要件を説明 → AIが生成 → PRレビュー → 公開
- ✓ 営業がAIに質問 → ソース付き回答を取得 → 即アクション
- ✓ 地域チームがフォーク → AIが翻訳 + 適応 → 承認 → 完了

## 新しいスキルスタック

### 説明する

必要なものを  
自然言語でAIに伝える

全社員

### レビュー

AIの出力を確認し  
Pull Requestで承認・改善

全社員

### 繋げる

ナレッジグラフを使い  
部門横断でアイデアをリンク

全社員

### 作る

AIの支援でワークフローや  
ツールを作成

好奇心のある社員

"2026年の最高のエンジニアは、コードを書ける人ではなく、必要なものを言語化できる人だ。"

# しかし、効率化は最終のゴールではない。

OpenAIの2025年企業AIレポート: ユーザーは1日40-60分を節約。誰も問わない疑問: その時間はどこへ行くのか?

## Enterprise OS

AIが定型的な  
知識業務を処理



## 時間の解放

従業員1人あたり  
1日40-60分を奪還



## 3M “15%カルチャー” 具現化

制度ではない。  
能力として。  
全員に。

## “人與人”

同僚

顧客

パートナー

家族

AI時代に勝つ企業は、最高のAIを持つ企業ではない。  
AIを使って、より人間的になる企業だ。

# 好循環

社員が輝けば、会社も輝く。Enterprise OSはその触媒。

## 社員の自己実現

**目的と成長** 15%の時間を情熱プロジェクト、学習、創造的な探求に

**メンタルヘルス** 反復作業からのバーンアウトが減少。  
日々の仕事により多くの意味を

**人間的なつながり** メンタリング、傾聴、  
大切な関係構築の時間

**ワークライフ統合** 仕事の効率化 = 家庭での存在感



## 企業の成長

**定着** エンゲージメントの高い社員は残る。  
知識が蓄積される。

**人材獲得** 「自分の成長に投資してくれる」が最強  
の採用メッセージに

**イノベーション速度** 15%の時間 + Enterprise OS = アイデア  
が記録・共有・発展される

**顧客ロイヤルティ** 傾聴する時間のある社員 =  
聞いてもらえたと感じる顧客

# 始め方

すべてを一度にやる必要はない。1つのワークフローから始めよう。

## 01 1つの課題を選ぶ

知識の分断が最も痛いワークフローを見つける。コンテンツのローカライズ、カスタマーサポート、法令対応 — 毎日不満が出ているものを選ぶ。

## 02 GitHubでPoCを構築

そのワークフローの文書をGitHubリポジトリに移行。バージョン管理を設定し、地域バリエーション用にブランチを作り、PRベースの承認を有効化。Show it works.

## 03 AIレイヤーを追加

AIアシスタントをリポジトリに接続。突然、AIに文脈・履歴・構造が生まれる。「使えない」から「使える」への変化を目撃する。

## 04 有機的に拡大

成功が導入を加速する。1つのチームが成果を出せば、他のチームも参加を求めてくる。新しいシステムが繋がるたびに、プラットフォーム全体が賢くなる。

# なぜ今か？

## 01 AIギャップは拡大している

88%の企業がAIを導入、しかし効果を実感しているのは39%（McKinsey, 2025年11月）  
違いはAIではない — データ基盤だ。先に解決した企業が永久に先行する

## 02 知識が会社から流出している

米国ではベビーブーマー世代が1日1万人以上退職している。知識を捕捉せずに去る退職は、永久的な損失  
Enterprise OSは知識移転を日常のワークフローに組み込む。別プロジェクトにはしない

## 03 テクノロジーは準備完了

Git、GitHub Enterprise、AI API — 必要なものはすべて今日存在する。欠けているのはテクノロジーではない  
すでにあるものを繋ぐビジョンだ

# 著者について



田中訓 / Dave Tanaka

Automation & Innovation Manager  
3M Japan

Blackmagic Design Certified Trainer  
DaVinci Resolve 20 / ATEM

## マーケティングとテクノロジーの交差点で30年以上

1991-97	ASCII	MacPower編集部 — 編集者 & 初代ウェブマスター
1997-00	Adobe	Built adobe.com/jp from 15K to 9M PVs (600×)
2000-03	Apple	apple.com Japan — iMac/iPod/iBook時代のローンチ
2003-11	Adobe	eCommerce Japan/APAC — 4%→16% of total sales
2011-Now	3M	デジタルマーケティング → AIツール開発・自動化

## commit log

- グローバルIT企業およびグローバルBtoB製造業での30年のデジタルマーケティング経験
- AI駆動の企業ツールを構築（翻訳自動化、技術ナレッジ検索） — 理論ではなく実践
- AIおよびデジタルマーケティング活用のCountry Leader
- Adobe Proof、ON24等のグローバルツール導入を日本で主導
- No Code/AI支援開発で社内ツールを構築・展開
- GitHub: 13リポジトリを運用中
- バイリンガル（日英） — 米国テック論と日本の企業現実を橋渡し
- コンテンツクリエイター: [youtube.com/@daveTanaka](https://youtube.com/@daveTanaka)



# 出典・参考文献

本プレゼンテーションのデータはすべて独立した第三者調査に基づいています

## AI導入とインパクト

- McKinsey & Company, "The State of AI" (November 2025) — 88% adoption, 39% enterprise-level EBIT impact
- OpenAI, "Enterprise AI Report" (2025) — 40-60 min/day time savings per user
- Deloitte, "State of Generative AI in the Enterprise" (Q1 2026) — 34% truly reimagining business with AI

## ナレッジマネジメント

- McKinsey Global Institute — 1.8 hrs/day searching; 20-25% productivity boost from robust KM; 35% search time reduction
- Bloomfire / Harvard Business Review (2025) — 21% searching + 14% recreating; 3.9 hrs/wk saved; 30%遅い collaboration
- IDC — \$31.5B/yr lost by Fortune 500 from failure to share knowledge

## GitHub Enterprise

- Forrester Research, "Total Economic Impact of GitHub Enterprise Cloud" (July 2025) — 376% ROI over 3 years
- GitHub (2025) — 92% of Fortune 100; 77,000+ enterprises; 180M+ users; Gartner Leader 2 consecutive years
- Enterprise customers: Mercedes-Benz, GM, Accenture, AstraZeneca, Costco, Cathay Pacific, Generali, Carlsberg

## イノベーション文化

- 3M Post-it® Notes history — publicly documented innovation story (Spencer Silver, 1968; Art Fry, 1980)
- 3M 15% Culture — publicly documented corporate innovation policy

このプレゼンテーションはGitHubで公開しています：

**[github.com/davetanaka/enterprise-os](https://github.com/davetanaka/enterprise-os)**

★ スターで応援

- フォークして自社向けにカスタマイズ
- Issues & PRs 歓迎

# Enterprise OS

足りないのはAIじゃない。OSだ。  
バージョン管理された知識。AI駆動の知性。人の開花

---

田中訓 / Dave Tanaka

- YouTube <https://www.youtube.com/davetanaka>
- note.com <https://note.com/davetanaka>
- Linked in / X @davetanaka
- [github.com/davetanaka/enterprise-os](https://github.com/davetanaka/enterprise-os)

© 2026 Dave Tanaka. All rights reserved.

本資料にはオリジナルのフレームワークと分析が含まれています。複製・配布には書面による許可が必要です。